

ヒトゲノム・遺伝子解析研究等に関する情報公開用文書

西暦 2017年 5月 15日作成

研究課題名	「網羅的遺伝子解析を用いた骨髄増殖性腫瘍の病態解明と診断治療法の開発」
研究の対象	当院を受診中もしくはこれから受診する者で、骨髄増殖性腫瘍の者、骨髄増殖性腫瘍疑いの者、骨髄増殖性腫瘍に類似の臨床所見を呈する者。家族性の疾患が疑われる患者の血縁者。
研究目的 ・方法	<p>骨髄増殖性腫瘍では、JAK2V617F 変異をはじめ、様々な遺伝子変異や遺伝子発現の異常が病因であるという報告がこれまでにされていますが、いまだ未解明な部分が多く残されています。</p> <p>本研究では、最先端の網羅的な転写開始点予測解析、転写制御領域解析、遺伝子発現解析、全遺伝子配列解析などを行ない、以下の目的で研究を行います。1) 形態学だけでは診断の難しい、骨髄増殖性腫瘍の詳細な診断に有効なマーカーの候補を得る、2) 骨髄増殖性腫瘍の治療に対する応答性の予測に有効なマーカーの候補を得る、3) 得られたマーカー候補を用いてさらに疫学的な調査を行ない有効なマーカーを同定する、4) 疾患の原因となる遺伝子変異や発現異常などを明らかにする、5) 患者検体より病態モデルを作成する、6) 病態モデルを用いて治療薬/方法の開発を行なう、7) 疾患の診断に有効なマーカーの検出・定量技術を構築し、実臨床への応用可能性を模索する。</p>
研究期間	西暦 2017年6月8日 ～ 西暦 2022年10月31日
研究に用いる 試料・情報の 種類	組織検査、骨髄検査、血液検査、その他の検査・治療措置などを受ける際に、採取された検体の一部（リンパ節、骨髄液、骨髄組織、血液、腹水など、以後検体と呼びます）のいずれかを使わせていただきます。そのほかに、口の内側の細胞や尿などを採取させていただくことがあります。
外部への 試料・情報の 提供	この研究のために提供していただくあなたの検体やそこから得られる試料は、網羅的遺伝子解析などのため、他の研究機関（国立研究開発法人 理化学研究所、公益財団法人 がん研究会がん研究所、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、東京大学、早稲田大学、九州大学、関西医科大学、名古屋第一赤十字病院、シスメックス株式会社、日鉄住金環境株式会社、島津製作所など）に送付されます。試料は匿名化手続きを行った上で送付いたしますので、あなたの個人情報他機関に漏れることは一切ありません。
研究組織	順天堂大学 医学部 血液内科 小松 則夫

ヒトゲノム・遺伝子解析研究等に関する情報公開用文書

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、検体等の提供者もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 血液リウマチ感染症内科 (研究責任者) 萩原 真紀

(個人情報管理者) 桐野 洋平

電話番号：045-787-2800 (代表) FAX：045-786-3444